

繁殖ベンチマーク その3

授精間隔を見る

初回授精を終えた後に最も問題になるのが、再授精までの時間となる。平均受胎率が40%の農場では、その6割は必ず再授精されなければならない。受胎率35%なら65%は、再授精に回ることになる。そして、この受胎に失敗した牛をすべて見つけて、この間の発情発見率（授精率）が100%であれば、その授精間隔はおおよそ18～24日の範囲に入ってくることになる。図は、妊娠率と授精間隔の相関を示している。授精間隔が短いほど妊娠率が高いことが容易に理解できる。当社で最も授精間隔の短い農場は、24.7日であるので、これは再発情をほぼ見つけていることを示している。

妊娠率と授精間隔の相関

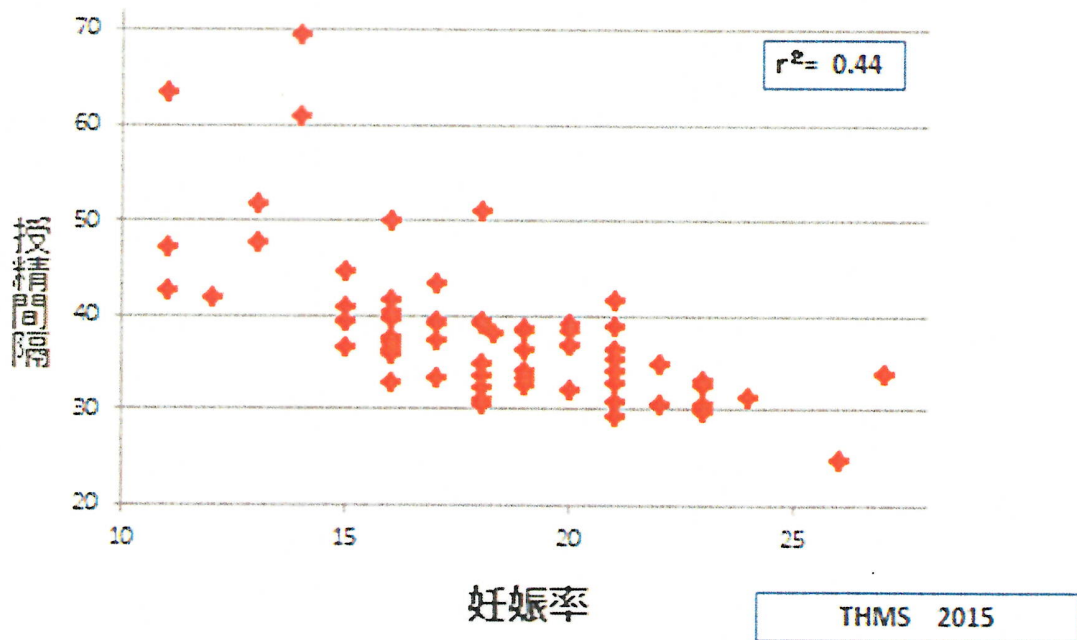


図 1

図2は、授精間隔（HIT）を短い順に並べ替えて、それらの妊娠率（PR）と空胎日数（DOP）を枠内に示してある。授精間隔と妊娠率には明らかな相関があることが分かるし、空胎日数もおおむねそれに従って長くなっていることが分かる。授精間隔が最も長い赤色の農場の中には、受胎率が46%や47%の農場も含まれている。しかしそれらの授精間隔がそれぞれ69日、63日と授精間隔がおおよそ3サイクルにもなっていることが、妊娠率と空胎日数を超過させている多き要因であることがわかる。授精間隔が35日以内の農場の多くは、妊娠率20%を達成できています。皆さんの農場の授精間隔はどうなっていますか？

黒 崎

授精間隔 (HIT) & 妊娠率 (PR):空胎日数 (DOP)

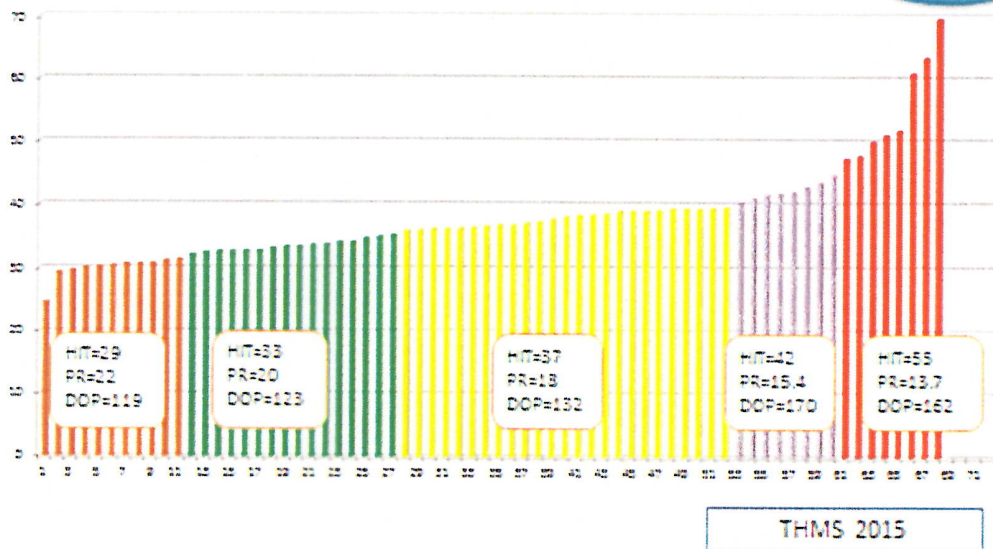


図 2

図 2 は、左から授精間隔の短い順にならべてある。そして、それらを段階的に色分けし、その同じ色の平均の授精間隔 (HIT)、妊娠率 (PR)、平均空胎日数 (DOP) を枠内に示している。授精間隔が長くなればなるほど、それらの妊娠率や空胎日数がどんどん悪化していることが明確にわかりますね。授精間隔は、当然発情発見率 (授精率) と表裏一体のもので、この授精間隔をいかに短くするかという工夫や、なぜその間隔が長くなるのかという理由を探ることが重要になるのです。最も空胎日数が長く、妊娠率が低い農場の (右端赤色) 受胎率 (CR) は、なんと 43% もあるのです。この数字は左端の妊娠率優良な農場の受胎率に勝るとも劣らないのです。一番左のもっとも高い妊娠率を示している牛群の平均受胎率は、40.2% です。いかに、授精間隔あるいは授精率 (発情発見率) の影響が大きいのか理解できるとと思います。あなたの農場の平均授精間隔はどのあたり (グループ) ですか? なぜ、そんなに授精間隔が長くなってしまうのですか? それを短縮するためにあなたは何をすべきですか?

黒 崎

座右の銘というほどのものではないにしろ、この 20 年ほどの間、自分に言い聞かせていた言葉は、「Nothing Challenge Nothing gain」という言葉でした。何かを得たいと思えばそのためには、果敢に挑戦しなければならないという意味です。また、何かに挑戦することとは、そのために何かを犠牲にするという意味でもありました。おおかたは、寝る時間とか、遊ぶ時間とか、家族といっしょに過ごす時間とか…。さらには、その挑戦が常に成功するわけではないので、その失敗にもめげず目標に向かって挑戦し続けろという意味も含まれていて、めげずにがんばり続けるという意味でもあります。自分としては、大好きな言葉で、これまでもさまざまな場面で、この言葉に助けられてきたようにも思います。自分

の講演の最後には、必ずスペースシャトルの打ち上げのビデオとともにこの言葉を添えているのは多くの方が知っていますが、これは常に自分に言い聞かせるためのものでした。スペースシャトルのチャレンジャーが、その挑戦のさなかに碎け散った悲惨な出来事にもめげず、挑戦を続けている姿は、この言葉とよくマッチしていると思い利用してきました。

しかしながら、最近60歳を超え、社長を退任して8ヶ月が過ぎ、いつまで挑戦し続けるのだろうかという疑問？を問い直す頻度が増えていました。多くの人にいつまでも現役で頑張rinaさいと、うれしい言葉をいただきながらも、自分のやりたい仕事も趣味もいっぱいありながら、いつまでどうやって・・・？と思うことが増えていました。そんな中、今の自分にいかにも当てはまりそうな言葉を思い出しました。最近読んだある雑誌にひょいと載っていて、改めて噛み締めてみました。その言葉は、次のようなものです。

「Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever」

「明日までの命と思って生きなさい。永遠の命と思って学びなさい。」

Mahatma Gandhi 1869-1948

チャレンジという言葉を中心に置きながら、このように生きれば・・・と思い始めています。年を重ね、こうした言葉が身にしみるこのごろです・・・。

黒 崎

といいつつ、老後に向けた楽しみ（チャレンジ）を一つ・・・ シャロレーだよ！

